

事業番号 2021 - カジノ - 20 - 0001

令和3年度行政事業レビューシート (カジノ管理委員会)

事業名	カジノ規制の整備・運用のための調査研究			担当部局	カジノ管理委員会事務局			作成責任者	
事業開始年度	令和2年度	事業終了 (予定) 年度	終了予定なし	担当課室	監督総括課 依存対策課 企画課国際室			課長 堀内 尚 課長 永田 充生 室長 梶原 徹	
会計区分	一般会計								
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	特定複合観光施設区域整備法(平成30年法律第80号) 第214条、第215条ほか			関係する 計画、通知等	-				
主要政策・施策	-			主要経費	その他の事項経費				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	特定複合観光施設区域整備法では、適切な国の監視及び管理の下で運営される健全なカジノ事業の収益を活用して、IR区域の整備を推進することにより、国際競争力の高い魅力ある滞在型観光を実現することとされている。前提となるカジノ事業の健全性について、本事業により得られた知見を活用し、厳格なカジノ規制を適切に整備・運用していくことを目的とする。								
事業概要 (5行程度以内。別添可)	①カジノ事業者による広告に関する海外事例収集、②諸外国のカジノ施設及びそれに付随する施設における感染症対策に関する海外事例詳細調査、③海外におけるカジノ事業の従業者規制(能力審査等)に関する調査、④海外の規制当局等によるカジノ行為の検証及び審査に関する実態分析を実施する。								
実施方法	委託・請負								
予算額・ 執行額 (単位:百万円)	予算 の 状 況	当初予算			116	116	193		
		補正予算							
		前年度から繰越し							
		翌年度へ繰越し							
		予備費等							
	計	0	0	116	116	193			
	執行額			69					
	執行率(%)	-	-	59%					
当初予算+補正予算に対する 執行額の割合(%)	-	-	59%						
令和3・4年度 予算内訳 (単位:百万円)	歳出予算目	令和3年度当初予算	令和4年度要求	主な増減理由					
	カジノ事業監督等業務庁費	116	193	必要な調査案件が増加することから、要求増。 新たな成長推進枠:193					
	その他	0	0						
	計	116	193						
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標		単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 - 年度
			成果実績	件	-	-	-	-	-
			目標値	件	-	-	-	-	-
			達成度	%	-	-	-	-	-
根拠として用いた 統計・データ名 (出典)	-								
定量的な成果目標 の設定が困難な場合	定量的な目標 が設定できない 理由及び定 性的な成果目 標	定量的な目標が設定できない理由			定性的な成果目標と平成30～令和2年度の達成状況・実績				
	調査を実施する事業のため、定量的な成果目標の設定は困難である。	海外のカジノ規制の調査を通じて、カジノ規制の整備・運用に係る知見を蓄積していくことで、審査基準等の検討・策定の一助となる。							
事業の妥当性 を検証するた めの代替的な 達成目標及び 実績	代替目標	代替指標		単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 - 年度
	カジノ規制に係る審査基準等を適切に策定していくための調査を実施する。	カジノ規制に係る審査基準等を適切に策定していくために必要な調査結果を得る。	実績	-	-	-	-	-	-
			目標値	-	-	-	-	-	-
		達成度	%	-	-	-	-	-	-

活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	3年度 活動見込	4年度 活動見込
	活動実績	件						
	調査件数	当初見込み	件	-	-	4	-	-
単位当たりコスト	算出根拠		単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	3年度活動見込	
	a執行額(千円)÷b執行件数(件)						千円/件	-
			計算式	a/b	-	-		68,926/4

政策評価、 新経済・財政再生計画との関係	政策	カジノ施設の設置及び運営に関する秩序の維持及び安全の確保						
	施策	カジノ事業の健全運営のための制度の整備						
	測定指標	定性的指標	目標	目標年度	施策の進捗状況(目標)			
		カジノ管理委員会規則等の意見公募手続の実施等に向けた検討・審議	カジノ管理委員会規則等の意見公募手続の実施等に向けた検討・審議を進める。	令和2年度	カジノ事業の健全な運営を確保し、カジノ規制を厳格に実施するため、261項目のカジノ管理委員会規則等の内容について、意見公募手続の実施等に向けた検討・審議を進める。			
					施策の進捗状況(実績)			
	カジノ管理委員会規則等について検討・審議を進め、カジノ管理委員会において、意見公募手続の実施について議決を行った。							
本事業の成果と上位施策・測定指標との関係								
本事業の成果については、特定複合観光施設区域整備法に基づく厳格なカジノ規制を適切に整備・運用するための知見の蓄積に資するものである。								

事業所管部局による点検・改善

	項目	評価	評価に関する説明
国費投入の必要性	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。	○	国民のカジノ行政に対する信頼を確保した上で、厳格なカジノ規制を適切に整備・運用していくことは不可欠である。
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。	○	本事業は厳格なカジノ規制の適切な整備・運用のために必要な基礎調査であり、国が実施すべき事業である。
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。	○	厳格なカジノ規制を適切に整備・運用していくための事業であり、優先度の高い事業である。
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	○	一般競争入札を実施しており、競争性は担保されている。調査事業のうち一者応札となったものがあつたが、結果的に一者応札となったものであり、十分な公募期間の設定、HPへの掲載等、適切に公募プロセスを実施している。
	一般競争契約、指名競争契約又は随意契約(企画競争)による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。	有	
	競争性のない随意契約となったものはないか。	無	
	受益者との負担関係は妥当であるか。	○	本事業は厳格なカジノ規制を適切に整備・運用していくために必要な基礎調査であり、本来国が実施すべき事業であるが、調査に当たり海外ネットワーク、高い専門性等が求められることから、こうした能力を有する民間企業等に国が調査委託を行うことが妥当である。
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。	○	一般競争入札により支出先を選定しており、競争によるコスト削減が図られ、適正な支出が担保されている。
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	-	-
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○	仕様書や見積りを精査することにより、費目や使途について真に必要なものに限定している。
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	○	不用率が大きい要因は、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、海外のカジノ事業者が営業を停止するなど、一部の現地調査を要する事業について、本年度中の実施が困難であること等を踏まえて発注したことによるものであり、妥当である。 なお、本来現地調査により収集しようとしていた情報については関係者へのヒアリング等により自ら補完を行ったが、他方で、現在日本にはカジノが存在せず、海外規制当局や海外事業者からの直接的で多面的な情報収集が必要不可欠であることから、令和3年度以降は、電話やオンライン会議に加えて、対面接触による情報収集も十分に実施することにした。
繰越額が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	-	-	
その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか。	○	委託調査の仕様書の記述をわかりやすくする等の改善に取り組み、より良い競争が働くよう努めている。	

事業の有効性	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。	○	審査基準等の検討・策定の一助となるカジノ規制の整備・運用に係る知見の蓄積を目標としているところ、本事業により適切に知見が蓄積されたところであり、目標を達成している。	
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。	-	本事業は、厳格なカジノ規制の適切な整備・運用に活用しており、調査・分析において他の手段等はない。	
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	○	概ね見合ったものとなっている。	
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	○	本事業の成果物は、厳格なカジノ規制の適切な整備・運用に活用しているところである。	
関連事業	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)	-		
	所管府省名	事業番号		事業名
点検・改善結果	点検結果	本事業では、厳格なカジノ規制の適切な整備・運用のために必要な情報収集及び調査分析等を適切に実施している。		
	改善の方向性	今後も費用対効果を十分意識しながら執行し、調査結果を厳格なカジノ規制の適切な整備・運用に有効活用していく。		
外部有識者の所見				
引き続き、適切に事業を遂行していただきたい。ただし、新型コロナウイルス感染症の拡大により結果的に執行額が低くなってしまったことや、実施できなかった事項、自ら補完した事項について、レビューシートに明記してはどうか。1者応札になった案件についても、「支出先上位10社リスト」にその理由や改善策を記載してはどうか。				
行政事業レビュー推進チームの所見				
現状通り	外部有識者の所見のとおり、指摘事項についてはレビューシートに明記すべきである。また、引き続き、効果的・効率的な事業の実施に努めるべきである。			
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況				
現状通り	外部有識者の所見のとおり、指摘事項についてレビューシートに明記した。引き続き、効果的・効率的な事業の実施等に努める。			
備考				

関連する過去のレビューシートの事業番号

令和元年度			
令和2年度			

※令和2年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

資金の流れ
 (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
 (単位: 百万円)

カジノ管理委員会
69百万円



委託【一般競争契約(総合評価)等】

A. 民間企業
(4者)
69百万円

費目・使途
 (「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)

A. みずほ総合研究所株式会社			B.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
人件費	主席研究員、上席主任研究員等	21			
物件費	調査協力費、国内交通費、文献資料費等	6			
一般管理費	-	3			
計		30	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	みずほ総合研究所㈱	5010001021403	海外におけるカジノ事業の従業者規制(能力審査等)に関する調査業務	30	一般競争契約 (総合評価)	1	-	【理由】 入札説明書を受領したが入札に参加しなかった業者へヒアリングを行った結果「納期までの作業期間が不十分であった」との意見があった。 【改善策】 入札公告期間の確保、受託者の業務履行期間の確保等の改善策を講じていく。
2	PwCコンサルティング (同)	1010401023102	諸外国のカジノ施設及びそれに付随する施設における感染症対策に関する海外事例詳細調査業務	25	一般競争契約 (総合評価)	4	-	
3	㈱エアクレーレン	4010401004009	海外の規制当局等によるカジノ行為の検証及び審査に関する実態分析業務	8	一般競争契約 (総合評価)	2	-	
4	ワールドインテリジェンスパートナーズジャパン㈱	2010001113277	カジノ事業者による広告に関する海外事例収集業務	6	一般競争契約 (最低価格)	4	-	